

## 幸町地区総合整備の検討状況について

### 1 経緯

幸町地区（※1）には、呉市立美術館（以下「美術館」といいます。）や呉市入船山記念館（以下「入船山記念館」といいます。）などがあり、市民や観光客が歴史・文化・芸術に親しむことができる地区となっています。

一方で、国から平成30年に取得した青山クラブ・桜松館については、これまで活用策の検討やニーズ調査結果に係る報告（6(1)参照）をしてきましたが、具体的な利活用の方向性が定まっていません。また、現在使用されている美術館等の地区内の各施設においては、老朽化の進行や時代のニーズに即した活用にあたって、大規模な改修工事の必要性があるなどの課題を抱えています。

こうしたことから、令和4年11月及び令和5年1月の総務委員会において、基本的な考え方として、幸町地区の歴史的経緯等を踏まえ、同地区を「歴史及び文化・芸術の拠点」として再整備することにより、地区全体の魅力を高め、市内の回遊性向上につなげ、多くの観光客が訪れるにぎわいを創出するとともに、市民が普段から利用（活動・交流）できる地区となるよう、幸町地区の総合整備について一体的に検討を進めていくことを報告しました。

この基本的な考え方に基づき、昨年5月には、建築、都市計画、歴史、文化・芸術の学識経験者等の11名の委員（6(2)参照）で構成される「幸町地区総合整備検討有識者会議」（以下「有識者会議」といいます。）を設置し、令和6年度にかけてエリアデザインの取りまとめに向けた検討を行っています。

また、青山クラブ・桜松館については、今年度、これまで実施していなかった建物の基礎部の調査を行っており、これまでに実施した建物調査結果と合わせ、それぞれの建物について利活用の検討を進める上での建物の基本情報の収集を進めています。

この度、有識者会議において、幸町地区の総合整備に関する「整備コンセプト」及び「幸町地区に求める機能」について中間取りまとめが行われましたので報告します。また、青山クラブ及び桜松館の建物基礎部の調査状況について、併せて報告します。

（※1）美術館、入船山記念館及び青山クラブ・桜松館が立地する地区

## 2 有識者会議における検討状況

### (1) 有識者会議の開催状況

令和5年5月の有識者会議設置後、会議を4回開催し、幸町地区の現況（6(3)参照）や歴史的経緯などを踏まえ、提案や議論を重ねながら、「整備コンセプト」、「幸町地区に求める機能」等について検討しました。

今後も引き続き、有識者会議を開催し、地区内の施設の配置、建物の活用方法や整備イメージ図等を示したエリアデザインを取りまとめます。

#### 有識者会議の開催状況

	日 時	会 場	主 な 議 題
第1回会議	令和5年5月31日(水) 18時00分～20時15分	呉市役所	○幸町地区の現状と課題の共有 ○地区に必要と考えられる機能について
第2回会議	令和5年8月2日(水) 18時00分～19時45分	呉市役所	○整備コンセプトについて ○各施設の在り方について
第3回会議	令和5年9月29日(金) 18時00分～20時00分	呉市役所	○整備コンセプトについて ○幸町地区に求める機能について
第4回会議	令和5年11月21日(火) 18時00分～20時15分	呉市役所	○整備コンセプトの取りまとめ ○幸町地区に求める機能の取りまとめ

※有識者会議での検討に当たり、整備コンセプトやエリアデザインの参考とするため、先進地視察を実施

○第1回視察（令和5年8月7日～同月8日）

視察先：東京都（九段会館，明治生命館，日本橋ダイヤビルディング及びHOTEL K5）

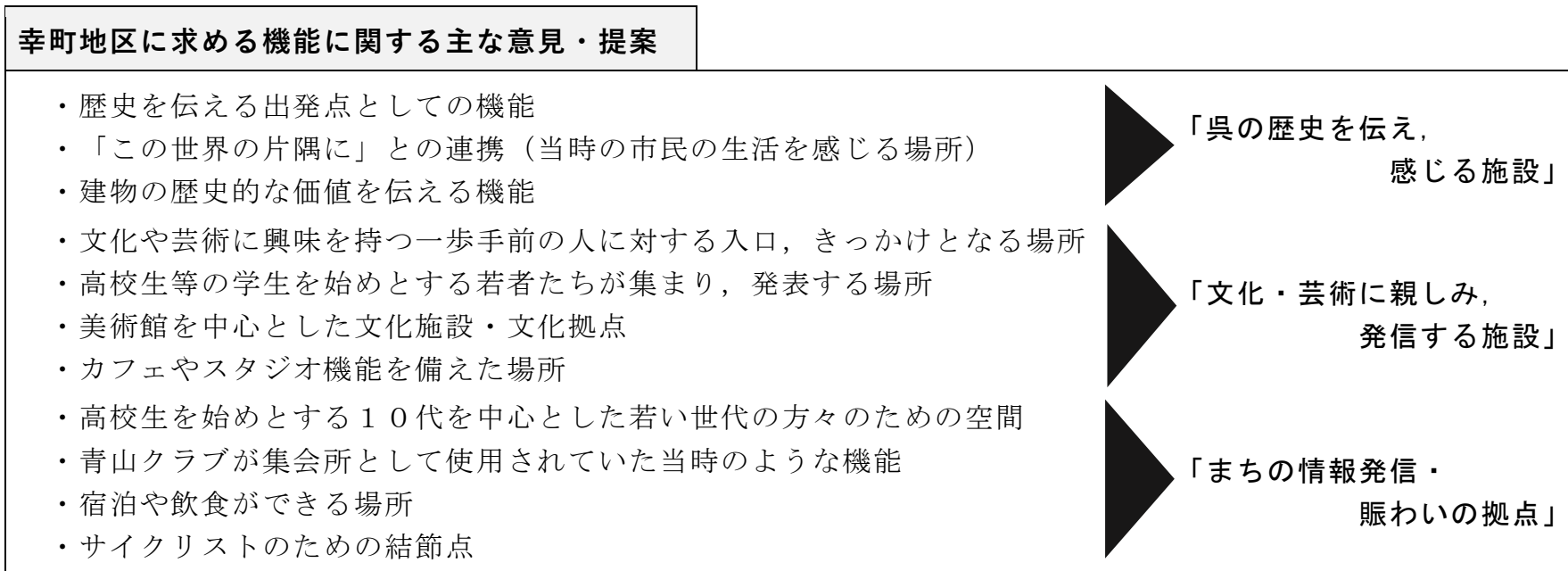
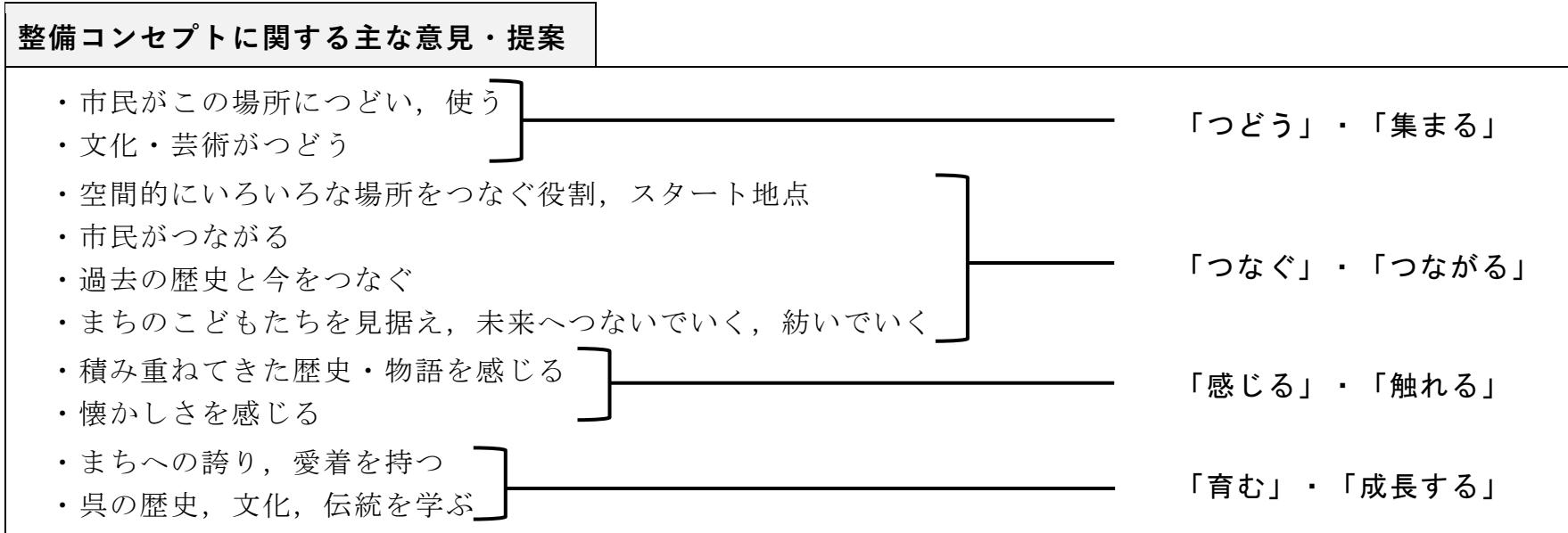
群馬県（富岡製糸場西置繭所）

○第2回視察（令和5年10月23日～同月24日）

視察先：兵庫県（デザインクリエイティブセンター神戸 K I I T O），京都府（立誠ガーデンヒューリック京都）

石川県（金沢21世紀美術館，石川県立歴史博物館及び金沢市民芸術村）

(2) 有識者会議での主な意見・提案



# 呉の歴史と文化を未来へ

～つどう・つながる・感じる・育む～

## つどう

- ・市民がつどう
  - ・観光客がつどう
  - ・芸術などの文化がつどう
  - ・サードプレイスのような場所としてつどう
- etc.

## 感じる

- ・もうひとつの「呉」，ここでしかできないもの・ことを体感する  
(まちや人々の歴史・文化などの物語を感じる)
  - ・幸町地区の歴史的経緯を踏まえ，海軍，海上自衛隊を始めとした，海とともに歩んできた呉の歴史に触れる  
(平和の大切さを感じる)
- etc.

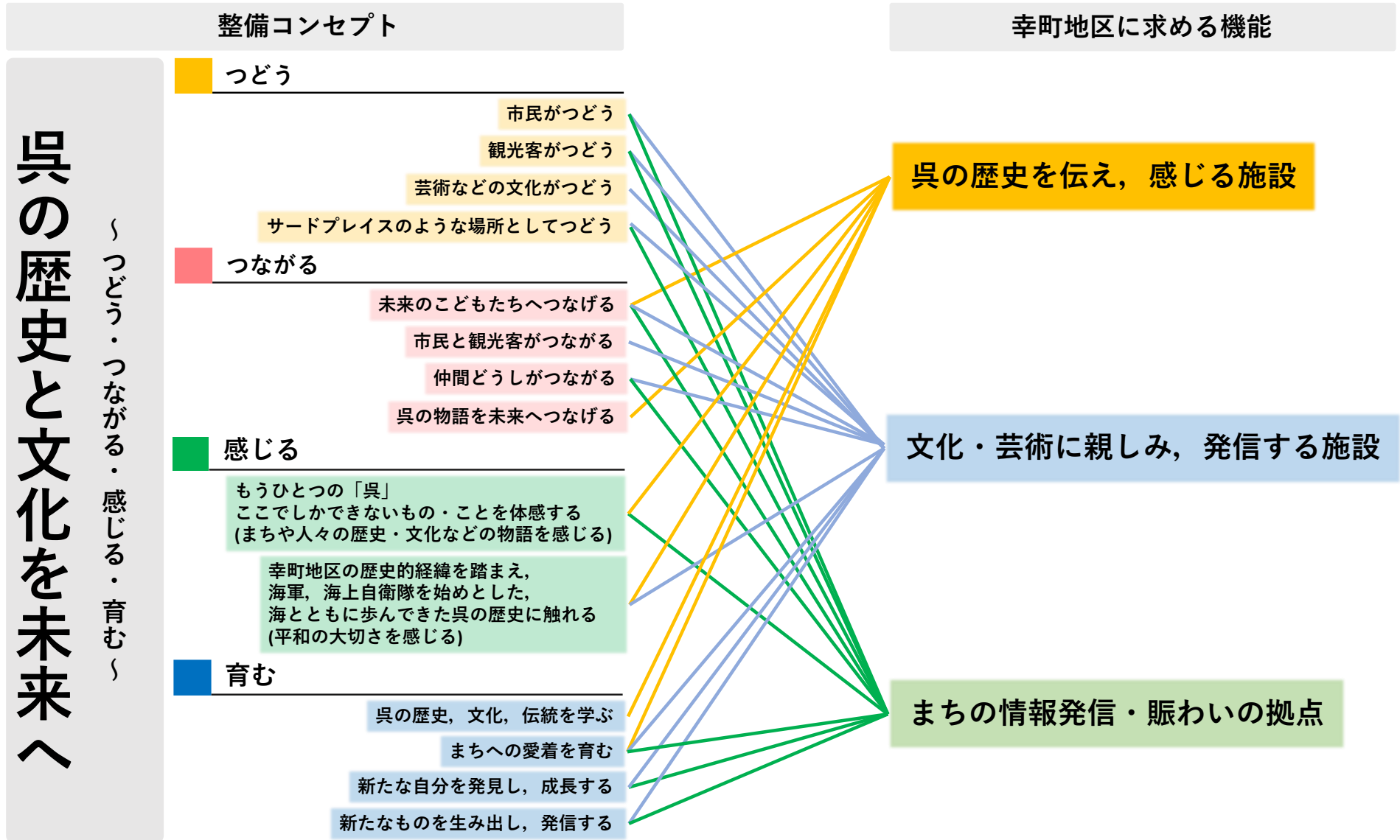
## つながる

- ・未来のこどもたちへつなげる
  - ・市民と観光客がつながる
  - ・仲間どうしがつながる
  - ・呉の物語を未来へつなげる
- etc.

## 育む

- ・呉の歴史，文化，伝統を学ぶ
  - ・まちへの愛着を育む
  - ・新たな自分を発見し，成長する
  - ・新たなものを生み出し，発信する
- etc.

(2) 整備コンセプトを踏まえた機能・施設の検討



### (3) 幸町地区に求める機能

#### 呉の歴史を伝え、感じる施設

##### 〈有識者会議での意見・提案〉

- ◆呉の歴史を伝える出発点
- ◆呉の歴史を継承する場所
- ◆幸町地区が歩んできた物語を生かした施設
- ◆建物の歴史・価値を伝える施設
- ◆「この世界の片隅に」に関連した施設  
(当時の市民の生活を感じることができる施設)
- ◆幸町地区の歴史的経緯を踏まえ、海軍・海上自衛隊を始めとした、海とともに歩んできた呉の歴史を通じて、平和を感じる場所  
etc.

#### 文化・芸術に親しみ、発信する施設

##### 〈有識者会議での意見・提案〉

- ◆美術館機能（美術館を中心とした文化の拠点）
- ◆スタジオ・ホール機能，ハブ的な機能  
(様々な活動に取り組み，発信する場所)
- ◆呉の文化に親しみ，自ら発信できる場所
- ◆講座や自主サークルの活動ができる施設
- ◆文化・芸術に興味を持つきっかけとなる場所  
etc.

#### まちの情報発信・賑わいの拠点

##### 〈有識者会議での意見・提案〉

- ◆まちのコンシェルジュ
- ◆まちのインフォメーション
- ◆まち歩きの出発点
- ◆サイクリストのための結節点
- ◆ものづくりのまちを発信する拠点
- ◆高校生を始めとした若い世代の人たちのための場所  
[ 気軽に来訪できる施設  
何かを創造し，生み出すことができる場所  
家や学校ではない，もう一つの場所 ]
- ◆飲食・物販・宿泊機能  
etc.

#### 4 青山クラブ・桜松館建物基礎躯体等調査の実施状況

青山クラブ及び桜松館において、これまで調査されていなかった建物基礎部や床面の配筋、厚さ等について現地調査を実施しました。

調査結果については、建築分野を専門とする有識者会議委員に専門的・技術的な見地から意見を伺う分科会を設け、調査の状況を報告し、建物の耐震補強や改修方針の検討を進めることとしています。

##### (1) 現地調査期間

令和5年8月31日～同年9月8日

##### (2) 調査方法

- ・建物内部から基礎形式及び形状を確認
- ・フーチング（※2）の下部まで掘削し、杭の有無を確認

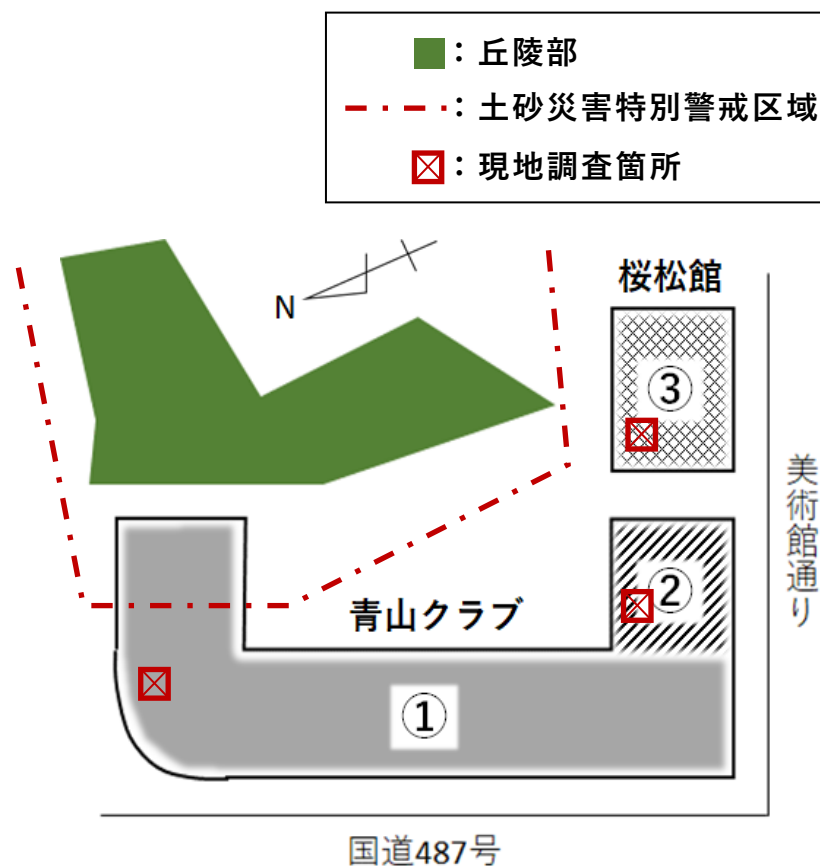
##### (3) 調査箇所（右図参照）

- ①青山クラブ（地下1階）
- ②青山クラブ（1階） ※地下部分がないエリア
- ③桜松館（地下1階）

##### (4) 参考

これまでに実施した建物調査結果の概要（6(4)参照）

- （※2）基礎底面に置かれ、構造物の荷重を分散して伝え、構造物の安定や地震時の倒壊を防ぐ役割を担う部材



(5) 調査結果

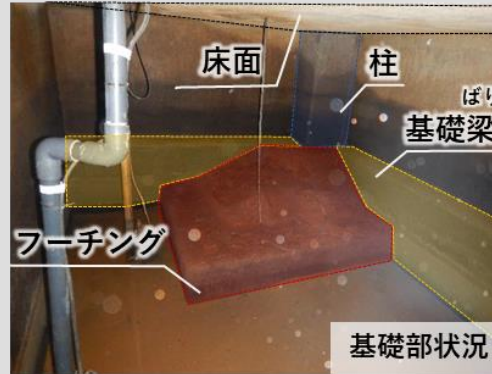
ア 建物の基礎部

① 青山クラブ（地下1階）

【基礎部の状況】

- ・基礎の深さは、地盤支持力が得られる深さとほぼ同等であり、直接基礎と考えられる。

- ・現状の建物を支える基礎として、機能を果たしているものと想定される。

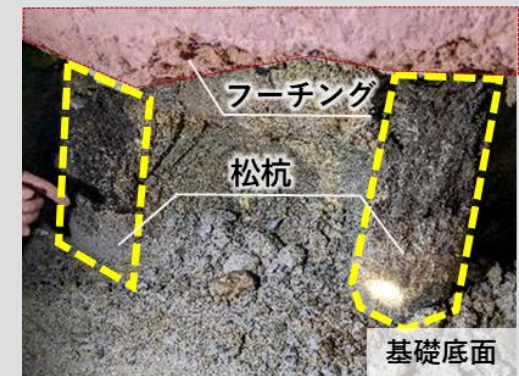


② 青山クラブ（1階）

【基礎部の状況】

- ・基礎部分の掘削を行い、基礎杭の有無を確認したところ、腐朽状態の松杭を確認

- ・建物の利活用に当たっては、基礎の改修が必要となるものと考えられる。

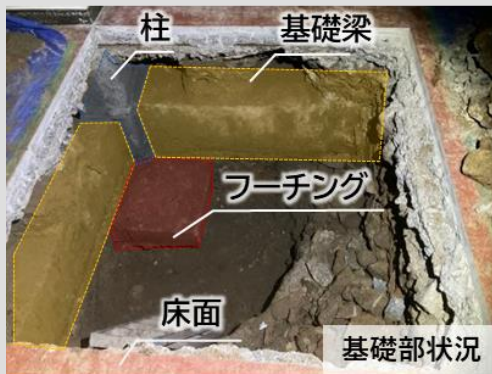


③ 桜松館（地下1階）

【基礎部の状況】

- ・床面を撤去後、基礎部分の掘削を行い、基礎杭の有無を確認したところ、直接基礎であることを確認

- ・現状の建物を支える基礎として、機能を果たしているものと想定される。





## イ 床面の配筋及び厚さ

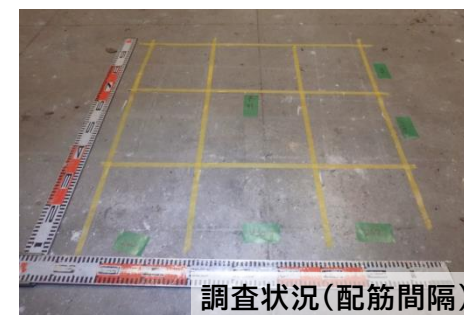
### ①床面の配筋 方法：レーダー探査により床面の鉄筋の有無と位置を確認

#### ○青山クラブ（鉄筋径：9mm）

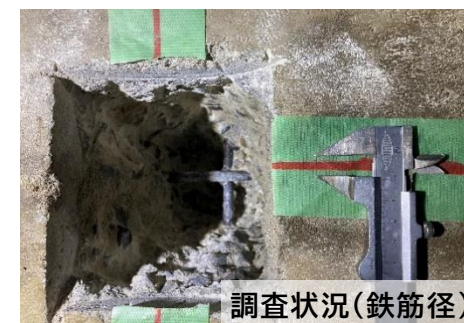
- 地下1階：300mm～350mm 程度の間隔で配筋
- 1階：150mm～400mm 程度の間隔で配筋（※3）
- 2階：150mm～250mm 程度の間隔で配筋（※3）
- 3階：150mm～300mm 程度の間隔で配筋

#### ○桜松館（鉄筋径：8～9mm）

- 地下1階：150mm～250mm 程度の間隔で配筋  
（確認された箇所の状況。配筋のない箇所も確認）
- 1階：150mm～250mm 程度の間隔で配筋
- 2階：150mm～200mm 程度の間隔で配筋



調査状況(配筋間隔)



調査状況(鉄筋径)

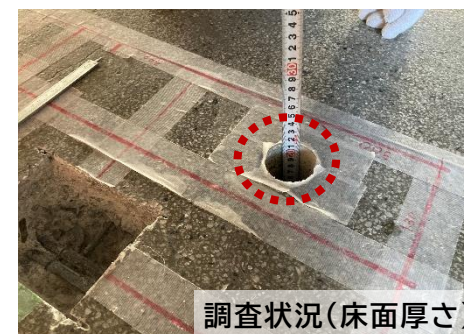
### ②床面の厚さ 方法：床面を削孔し、厚みを計測

#### ○青山クラブ

- 地下1階：厚さ 200mm 程度
- 1階：厚さ 150mm～250mm 程度（※3）
- 2階：厚さ 150mm～165mm 程度（※3）
- 3階：厚さ 180mm 程度

#### ○桜松館

- 地下1階：厚さ 110mm 程度
- 1階：厚さ 140mm 程度
- 2階：厚さ 150mm 程度



調査状況(床面厚さ)

(※3) 令和3年度に実施した調査結果

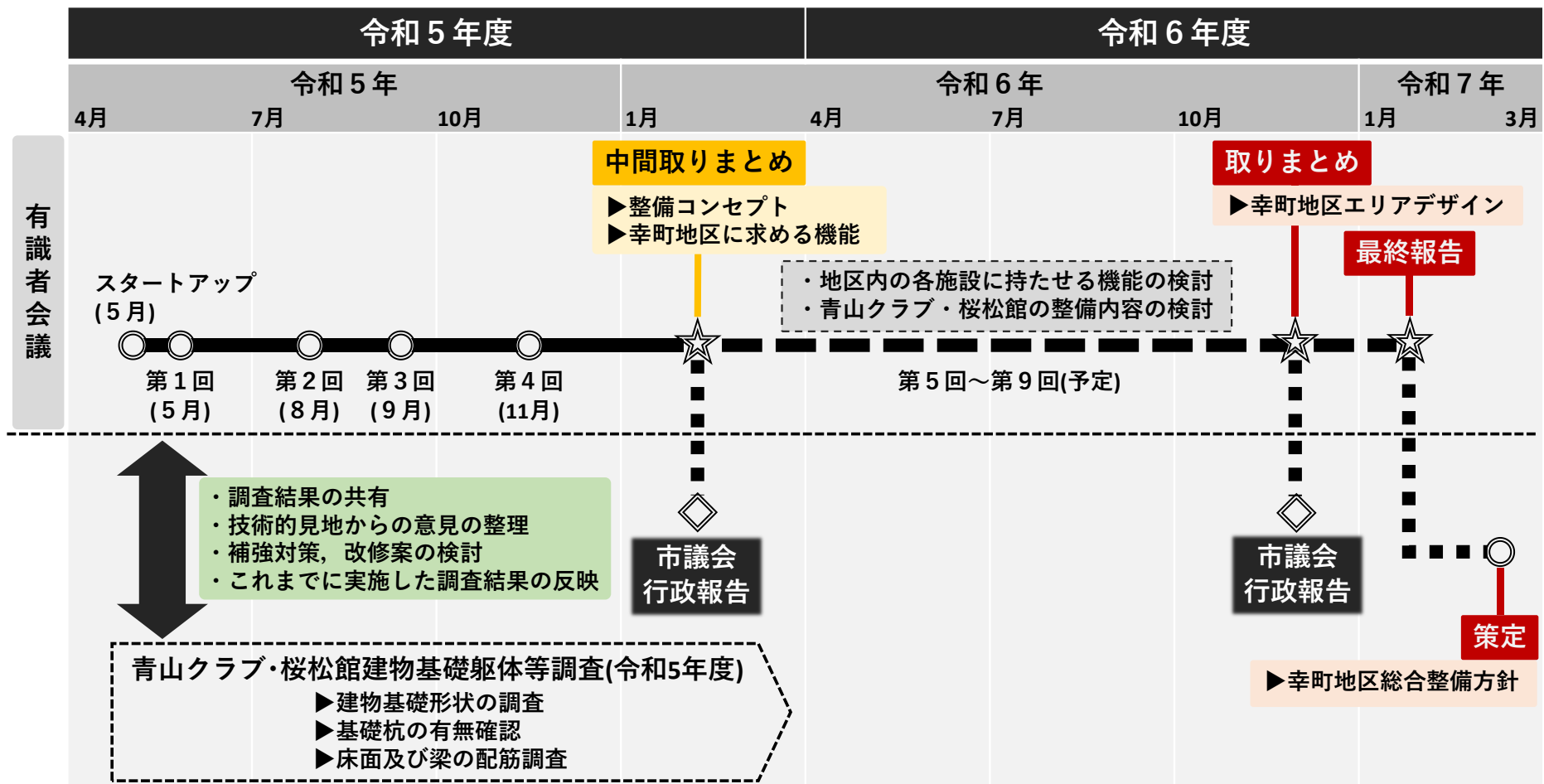
## (6) 今後の予定

本調査結果及び過去に実施した建物調査結果については、今後、有識者会議において議論される建物の利用用途等の内容に応じて必要となる建物の耐震補強や改修方法を検討する上での重要な基礎データとして活用する予定です。

## 5 今後のスケジュール

令和6年度にかけて引き続き有識者会議を開催し、「整備コンセプト」及び「幸町地区に求める機能」、これまでの建物調査結果を踏まえ、幸町地区内の各施設に持たせる機能や青山クラブ・桜松館の整備内容（建物の全部保存、一部保存、建替え、建物の改修方法など）等を専門的な見地から検討し、幸町地区における施設・機能の配置について、具体的な方向性を整理します。

これらの検討を踏まえ、有識者会議において、整備のイメージパースや地区内の各施設の整備内容・方法、整備スケジュール、概算事業費などを示した幸町地区のエリアデザインの取りまとめ、有識者会議としての最終報告を行い、令和6年度中に市において幸町地区総合整備方針を策定します。



## 6 参考資料

### (1) 市議会における主な報告経緯 ※検討内容は、報告当時のもの

議 会	内 容
平成 28 年 12 月 総務委員会	<p>○青山クラブ等の取得の検討について報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宝町～幸町エリアにおける回遊性の更なる向上に向けて、幸町エリアへの集客を図るため、青山クラブ等を活用し、呉の歴史や文化、グルメなどに触れることができる集客施設を整備する方針</li> </ul>
平成 29 年 5 月 総務委員会	<p>○青山クラブ等の取得と今後の検討方針について報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜松館は、にぎわい拠点となる新たな集客施設、青山クラブは、将来的な大和ミュージアム関連施設の整備を視野に入れつつ、部分保存や、外観イメージの再現の可能性について検討</li> </ul>
平成 29 年 12 月 総務委員会	<p>○青山クラブ・桜松館の具体的な活用案について報告</p> <p>【桜松館】</p> <p>呉市の特産品を用いたメニューを提供するレストラン・カフェ、呉市の地域資源の発信・販売など、にぎわい拠点となる新たな集客施設を整備する案を提示</p> <p>【青山クラブ】</p> <p>建物規模や構造、老朽化、耐震性などを十分踏まえた活用案を提示</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 全部解体し、駐車場兼イベントスペースとして整備</li> <li>2 外壁の一部のみ保存。残りは解体撤去し、駐車場兼イベントスペースとして整備</li> <li>3 建物の 1 / 3 を保存し、呉の歴史・文化、特産品等の情報発信拠点、市民フリースペース、宿泊施設等として活用。残りは解体撤去し、駐車場として整備</li> <li>4 建物全部を保存し、呉の歴史・文化、特産品等の情報発信拠点、市民フリースペース、宿泊施設等として活用</li> </ol>
平成 30 年 1 月 総務委員会	<p>○平成 29 年 12 月の総務委員会において報告した案に加え、活用案を提示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の 2 / 3 を保存し、呉の歴史・文化、特産品等の情報発信拠点、市民フリースペース、宿泊施設等として活用。残りは解体撤去し、駐車場として整備</li> </ul>
平成 30 年 5 月 総務委員会	<p>○財産取得議案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青山クラブ等に係る財産の取得議案について報告 203,775 千円 (H30.6.25 契約)</li> </ul>

令和2年6月 総務委員会	<p>○ニーズ調査結果について報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「カフェ・喫茶店」，「一般レストラン」，「呉の歴史展示施設」，「ホテル」，「音楽ホール」など，市民から観光客までの幅広い利用を目的とした幅広いニーズがあることを確認</li> <li>・建物の活用範囲については，全部保存活用から全部解体まで意見が分散</li> </ul>
令和3年6月 産業建設委員会	<p>○青山クラブへの大和ミュージアムの一部機能分担の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呉市海事歴史科学館リニューアル外部検討委員会において，大和ミュージアムの収蔵庫などの一部機能を青山クラブに分担させることが，今後の検討事項として示された旨を報告</li> </ul>
令和4年3月 産業建設委員会	<p>○青山クラブへの大和ミュージアムの一部機能分担の検討見送りについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大和ミュージアムの一部機能を青山クラブへ分担させることについて，呉市海事歴史科学館リニューアル基本計画策定委員会において当該機能は，大和ミュージアムへ集約すべきとの意見が出された旨を報告</li> </ul> <p>→令和4年9月定例会代表質問に対する答弁</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青山クラブの活用について，呉市海事歴史科学館リニューアル基本計画策定委員会において大和ミュージアムの一部機能は分担しない方が良いという意見を受け，幸町地区の特性，美術館を含めた各施設の老朽化や施設の改修の必要性などの課題を踏まえ，施設整備の在り方について，個別に検討するのではなく，幸町地区が有する魅力を向上させることができるよう，市民，団体の関係者，外部有識者等で構成する検討委員会を立ち上げ，一体的に検討していく考えを答弁</li> </ul>
令和4年11月 総務委員会	<p>○幸町地区総合整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呉市立美術館，入船山記念館及び青山クラブ・桜松館が立地し，市民や観光客が文化・芸術に親しむことができる幸町地区の特徴や歴史的経緯等を踏まえ，各施設の機能を向上させ，市民や観光客が集いにぎわう文化・芸術拠点となるよう，幸町地区の総合整備について一体的に検討を進める。</li> <li>・検討に当たり，建築，都市計画，芸術・文化等の学識経験者や市民団体の代表者等で構成する有識者会議を設置し，エリアデザインのとりまとめ及び幸町地区総合整備方針の策定をする。</li> </ul>
令和5年1月 総務委員会	<p>○幸町地区総合整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸町地区を「歴史及び文化・芸術の拠点」として再整備し，多くの観光客が訪れるにぎわいを創出するとともに，市民が普段利用できる地区となるよう一体的に検討を進める。</li> <li>・有識者会議において地区内の施設の現状とあり方を整理し，整備コンセプト及び各施設に付与する役割・機能や配置等を検討する。</li> </ul>

(2) 有識者会議委員（第4回会議：令和5年11月21日開催時点）

氏名	専門分野等	団体・機関・役職
岡 雄大	物販・飲食・宿泊等	株式会社 S t a p l e 代表取締役
小野 香澄	まちづくり活動	特定非営利活動法人 S Y L
加茂 義永（※4）	自衛隊と市民の交流	海上自衛隊呉地方総監部 管理部長
河崎 圭一郎	まちづくり活動	入船山秋祭り実行委員会
下倉 玲子	建築計画・教育施設	呉工業高等専門学校建築学科 准教授
田中 貴宏	都市計画	広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授
戸高 一成	歴史・文化	呉市海事歴史科学館・入船山記念館 館長
福永 治	芸術・文化	京都国立近代美術館 館長
松野 一成	耐震構造	呉工業高等専門学校建築学科 教授
水田 丞	日本近代建築史	広島大学大学院先進理工系科学研究科 准教授
横山 勝彦	芸術・文化	呉市立美術館 館長

（※4）加茂委員は、第5回会議から変更予定

### (3) 幸町地区の現況（施設概要・位置図）

- ① 旧呉海軍工廠塔時計  
【大正10年設置】
  - ② 旧高鳥砲台火薬庫  
【明治35年建設】
  - ③ 旧東郷家住宅離れ  
【明治23年建築】
  - ④ 郷土館【昭和54年建築】
  - ⑤ 2号館【昭和42年建築】
  - ⑥ 歴史民俗資料館(近世文書館)  
【昭和61年建築】
  - ⑦ 旧呉鎮守府司令長官官舎  
【明治38年建築】
- 終戦まで、呉工廠とともに歴史の時を刻む。昭和46年、移設展示。昭和56年、呉市有形文化財指定
- 陸軍が建設した高鳥砲台の跡地から昭和42年、移築復元。平成23年、国登録有形文化財に登録
- 呉に在住していた東郷平八郎が、明治23年から住んでいた家の離れ座敷を昭和55年に移築・復元。平成9年、国登録有形文化財に登録
- 旧呉鎮守府司令長官官舎とともに呉市入船山記念館を構成し、呉市立美術館と幸町地区の文化ゾーンを形成。呉市の歴史資料を展示しているが、設備の老朽化や展示資料の分散、収蔵スペース不足等の課題がある。
- 呉鎮守府開設に伴い、明治22年に建設された軍政会議所兼水交社が、明治38年の大地震によって倒壊し、平屋建てに再建。平成4年から3年を掛け復原修理を実施。平成10年、国重要文化財指定



- ◆ 東郷元帥ゆかりのイチヨウ
  - ◆ 乙女椿
  - ⑧ 美術館 本館【昭和57年建築】
  - ⑨ 美術館 別館【平成5年建築】
  - ⑩ 桜松館【昭和4年建築】
  - ⑪ 青山クラブ【昭和11年建築】
- 英国の造船所で建造された日本海軍の軍艦「比叡」の進水式の際、英国海軍官舎の庭に日本から贈られた銀杏が植樹された。「比叡」を東郷平八郎が日本に回航したことから、東郷元帥ゆかりの銀杏として語り継がれ、2020年7月、挿し木で得られた苗木を植樹
- 長者の娘と貧しい漁師の若者とが恋に落ちたが、結ばれることを許されず二人は海に身を投じた。娘のなきがらが流れ着いた呉浦に、椿が一輪の花を咲かせ、夜になると光を発し、舟人たちが夜の舟旅の目印にしたとの伝説が残っている。現在は2代目
- 本館は展示室や講座室、別館は収蔵庫や喫茶コーナーがある。本館は開館から40年が経過し設備の老朽化が顕著となっていることや、収蔵機能が別棟にあることなど、運用上の課題がある。
- 戦前は海軍の講堂、戦後は進駐軍の占領施設となった後、昭和33年より海上自衛隊の厚生施設となり、昭和55年からは、海上自衛隊呉音楽隊の庁舎として使用された。
- 戦前は海軍の下士官兵集会所、戦後は呉市に駐留した英連邦占領軍が司令部を設置。司令部の移転後は、「呉ハウス」として使用。昭和33年より海上自衛隊の厚生施設となり、喫茶店や宿泊施設等として使用された。
- 【凡例】  
●●●● 現在の動線  
○ 過去にあったとされる動線  
—— 河川
- 引用:Google Map

※地区面積：22,759 m<sup>2</sup>（呉市公有財産台帳による）

(4) これまでに実施した建物調査結果の概要

青山クラブ	桜松館
<p>【平成 30 年度（呉市実施）】</p> <p>○現地調査及び耐震診断を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート強度（設計基準強度：13.5N/mm<sup>2</sup>） 最低平均値：18.7N/mm<sup>2</sup>（2階部分）</li> <li>・構造耐震指標（判定指標：Iso=0.54） 1階 横方向：0.20 縦方向：0.22 2階 横方向：0.29 縦方向：0.29 3階 横方向：0.52 縦方向：0.44</li> </ul> <p>→建物<sup>く</sup>躯体のコンクリート強度は有しているが、耐震性を有しておらず、現状での使用に当たっては、耐震補強が必要</p> <p>【令和 3 年度（呉市実施）】</p> <p>○呉市海事歴史科学館リニューアル外部検討委員会における意見を踏まえ、大和ミュージアムの一部機能（収蔵庫として活用）を分担することの可能性を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床の耐荷重（想定荷重：800kg/m<sup>2</sup>以上） 1階 100kg/m<sup>2</sup>～800kg/m<sup>2</sup> 2階 200kg/m<sup>2</sup>～800kg/m<sup>2</sup> 3階 200kg/m<sup>2</sup>～800kg/m<sup>2</sup></li> </ul> <p>※場所によって、 耐荷重が異なる</p> <p>→1階及び2階の想定荷重（800kg/m<sup>2</sup>）を満たすフロアを中心に、収蔵庫や展示機能を計画し、荷重の载荷による建物の耐震補強への影響を考慮した対策が必要</p> <p>土砂災害特別警戒区域に干渉している部分については、建物内部からの補強や干渉する部分を減築することにより対策可能</p>	<p>【平成 24 年度（防衛省実施）】</p> <p>○現地調査及び耐震診断を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート強度（設計基準強度：13.5N/mm<sup>2</sup>） 最低平均値：9.7N/mm<sup>2</sup>（2階部分）</li> <li>・構造耐震指標（判定指標：Iso=0.54） 地下1階 横方向：0.18 縦方向：0.16 1階 横方向：0.15 縦方向：0.13 2階 横方向：0.15 縦方向：0.13</li> </ul> <p>→建物躯体のコンクリート強度及び耐震性を有しておらず、現状での使用に当たっては、耐震補強が必要</p> <p>【令和 2 年度（呉市実施）】</p> <p>○追加現地調査を踏まえた耐震診断の再実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート強度（設計基準強度：13.5N/mm<sup>2</sup>） 最低平均値：12.4N/mm<sup>2</sup>（2階部分）</li> <li>・構造耐震指標（判定指標：Iso=0.54） 地下1階 横方向：0.35 縦方向：0.19 1階 横方向：0.33 縦方向：0.16 2階 横方向：0.17 縦方向：0.14</li> </ul> <p>→建物躯体のコンクリート強度及び耐震性を有しておらず、現状での使用に当たっては、耐震補強が必要</p>